

スマホを使ってサウンドロゴとジングルを作ってみよう

開催日：2023年9月23日、10月5日

@アクトシティ浜松研修交流センター

スマホやタブレットを使った短いメロディを作るワークショップを開催しました。2回のワークショップで、iOS アプリ GarageBand（ガレージバンド）を使って、サウンドロゴやジングルを作ります。

講師のジョン先生は、作曲家として、石原貴洋映画監督の音楽を数多く手掛け、『レッドリスト』『大阪少女』『大阪闇金』などの作品に音楽を提供しています。

1回目は、最初に参加者の皆さんが自己紹介をした後、サウンドロゴやジングルとは何かについてジョン先生から説明がありました。サウンドロゴもジングルも短めの音楽ですが、サウンドロゴは絵のロゴと同じで、音だけで企業などをイメージできるものです。ジングルはラジオやテレビ、ユーチューブ動画などの場面転換の時などに流れる音です。

早速、ガレージバンドを使ってジングルを作ってみることになりました。ドラム、和音（コード）、メロディ、効果音を Apple Loops から選ぶことでジングルを作りました。Apple Loops にはあらかじめ登録されているフレーズやリフ（リフレイン：繰り返し使われるフレーズ）がたくさんあります。今回は、4小節の長さに4つの要素を盛り込んで、作ってみることになりました。参加者の皆さんは、ジョン先生に質問しながら、ジングルを作ることができました。

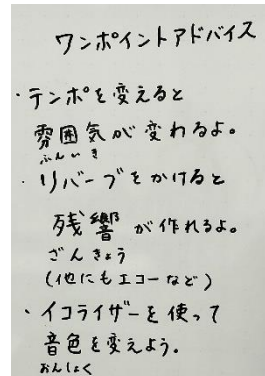
出来上がった中から2人の参加者が作った作品を発表してもらいました。ジングルとして使うときには、リバーブ（残響）やエコー（反響）などによる演出も効果的だとジョン先生からアドバイスがありました。



次に音楽の基本についての説明がありました。Cメジャースケールをベースに、コード等についての説明を受けた後、ガレージバンドにコードを並べました。

メロディは、思いついた言葉の数だけC（ピアノの場合はド）を並べて、イン

トネーションに合わせて音程を変えて作りました。この時に、すでに並べたコードと、メロディの音がぶつからないように気をつけます。



次に、浜松らしいものをイメージしたサウンドロゴのメロディを作っていました。

まずは、浜松について自分が感じるイメージのキーワードを書き出しました。アクトタワー、楽器、音楽、ウナギ、お茶、みかん、アルミパックのご飯など、みんなからいろいろな意見が出ました。それから、思い浮かべたイメージにふさわしい音のイメージも書き出しました。

ガレージバンドでは色々な楽器を選んで使えるので、実際にサウンドロゴを作るときにイメージした音になるような音色を探して使います。

イメージした音になるように、いくつかサウンドロゴを作ることが宿題となりました。2回目は作ったサウンドロゴをプレゼンしながら発表します。みんなのイメージする浜松は、どのようなメロディになるのでしょうか。



2回目は、自宅で作ってきたサウンドロゴを、ジョン先生のアドバイスを受けながら各自調整するところから始まりました。サウンドロゴが完成した人は、プレゼンの準備もしました。

発表では、みんながそれぞれイメージした浜松やそのイメージをどのように音で表現したのかについて紹介し、実際にサウンドロゴを流しました。

サウンドロゴは短い音なので、その短い中で表現をまとめることに苦労したようです。

今回のワークショップを通して学んだことを活かして、ガレージバンドを使ったメロディ制作に、これからも挑戦できるといいですね。

参加者のみんなが作った動画と曲は、こちらでご覧いただけます。

<https://www.creative-hamamatsu.jp/projects/hcb/workshop/ws20230204/>

